

実写版【ゲッターロボ】  
ゲッターロボ 50周年記念となる2025年公開予定  
本作『パイロット映像制作』を目的とした  
クラウドファンディングを開始！

永井豪 & 石川賢 原作『ゲッターロボ』 50周年記念となる2025年 初の実写映画化。  
『ゲッターロボ』パイロット映像 制作 クラウドファンディングもスタート！  
本作制作開始に伴い 映画制作受託 & 制作資金調達 を主業とする (株)ビッグワン 設立。

株式会社ビッグワン（本社：東京都千代田区外神田 6-11-18 / 代表：岡部淳也）は、  
永井豪と石川賢 原作『ゲッターロボ』の実写映画化を行うことを発表。  
本作へ向けた、高度な特撮&デジタル&特殊造形の映像を集結させた「パイロット映像」の制作資金調達  
を目的としたクラウドファンディング を、4月19日（水）まで【約2週間限定】で実施する。



- クラウドファンディング (CAMPFIRE) : <https://camp-fire.jp/projects/view/664336>
- 実写版『ゲッターロボ』公式サイト : <https://getterrobo.jp/>
- ビッグワン 公式サイト : <https://bigone.tokyo/>

## 《 変形×合体×巨大ロボットの元祖 初の実写化 》

『ゲッターロボ』は、1974年（昭和49年）～1975年（昭和50年）に、永井豪と石川賢による原作の「週刊少年サンデー」連載の漫画、およびフジテレビ系で放送されたアニメ作品。

合体・要素を組み込んだ元祖と呼ばれる、巨大ロボット作品の金字塔。

テレビアニメ版は低年齢層も鑑賞可能な勧善懲悪な内容だったが、石川賢の連載では、バイオレンスでハードな展開となっており、現在も熱狂的ファンに支持されている。アニメ・漫画それぞれ幅広い需要に長期に渡り応える作品として2025年に50周年を迎える。



©Go Nagai-Tetsuko Ishikawa/Dynamic Production 1974



©Go Nagai-Tetsuko Ishikawa/Dynamic Production 1974



©Go Nagai-Tetsuko Ishikawa/Dynamic Production 1974

本作のプロデューサー・監督・脚本は「大怪獣バトル ウルトラ銀河伝説」「キャット・シット・ワン」「ブレイブストーム」「ZVP（座頭市 VS プレデター）」等を手掛けた岡部淳也が担当。

永井豪&石川賢【漫画版ゲッターロボ】の持つアウトロー、バイオレンス、アクションを現代的にアレンジした『ゲッターロボ』の実写化を目指す。

既に、権利元であるダイナミック企画との実写映画化権は締結完了。

現在、主要各社による製作委員会の設立準備中。

映画ビジネス参入希望からの本作への出資も現在受付け中。《問い合わせ先 : [info@bigone.tokyo](mailto:info@bigone.tokyo) 》

## 《 パイロット映像 制作を目的としたクラウドファンディングを実施 》

現在、ゲッターロボ 50周年となる2025年の劇場公開へ向け制作準備進行中。

【漫画版ゲッターロボ】には、魅力的では有るが難易度が極めて高いビジュアルイメージが数多く存在する。それらをベストに映像化する為、国内&海外のクリエイターを交えた特撮・VFXのビジュアル試作、テスト映像計画を構想中。



BIGONE

通常であれば映画予算とスケジュール内で それを行うのだが、邦画の通常予算規模ではスタート時点で様々な妥協が強いられる。しかし従来の漫画やアニメの実写邦画を超える事が今回の実写版『ゲッターロボ』の使命とされている。

その実現に近づけるひとつの手段として、映画本編の制作費とは別枠扱いとなる「パイロット映像（3～5分間）」の制作を計画。その資金をクラウドファンディングより『ゲッターロボ』ファン、実写化に期待する方々へ 支援を願うに至った。

クラウドファンディングは、日本向けに CAMPFIRE を4月19日（水）までの約2週間限定実施中。また追って、海外向けに Kickstarter を4月初旬 頃に行う予定。

リターンでは、パイロット映像 が一般公開される前に先行してオンライン鑑賞できる権利の他、メイキング映像、エンドロールクレジットへの名前の記載 などを予定している。

## 《 実写映画『ゲッターロボ』製作概要 》

■ タイトル	: ゲッターロボ
■ 原 作	: 永井豪・石川賢
■ プロデューサー	: 岡部淳也
■ 監 督	: 岡部淳也
■ 脚 本	: 岡部淳也、他 脚本家 漫画家 との共作
■ 脚本協力	: 田畑由秋
■ 撮 影	: 古谷巧
■ メカデザイン&イメージボード	: Skan Srisuwan
■ サウンド	: Michael Verta
■ 制 作	: (株)ブラスト
■ 製 作	: (株)ビッグワン
■ 配 給	: 未 定
■ 公 開	: 2025年春 予定

※ パイロット映像&映画が完成までの過程で、デザイン、ストーリーの方向性、スタッフは、改善や問題解決という観点から内容修正、スタッフの変更が行われる場合有り。

## ◆ 製作 (株)ビッグワン

### 【 映画の受託制作 】【 映画への出資公募 】を開始

本作、実写版『ゲッターロボ』の制作を手掛ける(株)ビッグワンは、主幹業務【映画・番組・CM等の自社制作業務に加え、



映画制作を要望される個人や法人へ向けた【映画制作の受託業務】

映画作品への【直接出資の紹介】を開始した。

- ◎ ビッグワン 映画・番組・キャラクター制作業務 【 <https://bigone.tokyo/> 】
- ◎ ブラスト 創業39年、映像・CG・特撮 スタジオ 【 <https://www.blast.jp/> 】
- ◎ ゼペット 特殊美術造型スタジオ 【 <https://www.zeppet.com/> 】

この3つスタジオの共同制作体制により、映画への思いや夢を実現させるサポートを行う。

『自分の映画を作りたい』『自分が出演する映画を作りたい』

『作りたいストーリーの映画化』『映画へ出資を行いたい』等、

映画業界とは接点の無かった個人や法人からのニーズにより、

映画制作の受託から劇場公開までトータルサポート。映画作品への直接出資紹介を行う。

## ◆ 映画制作の受託

- 【1】個人&法人から 映画作品 への直接出資紹介。
- 【2】映画化を希望される 自身の構想、原作 等 からの映画制作受託。
- 【3】個人や会社を主体とした プロモーションドラマ・映画の制作。

## ◆ 映画制作会社ブラスト 過去の作品事例

- ・キャット・シット・ワン (2010年 / 製作、プロデュース)
- ※「TCM アワード 2010 大賞」受賞
- ※「第9回 視覚効果協会賞 (VES Awards)」ショートアニメーション部門ノミネート
- ・ブレイブストーム (2017年 / 製作)
- ・ZVP (座頭市 VS プレデター) (2017年 / 製作)
- ※「GOSH! FILM FESTIVAL 3rd Edition Awards」BEST DIRECTOR 賞受賞

詳細はこちら：

【 <https://bigone.tokyo/> 】

【お問い合わせ】株式会社ビッグワン 担当：大友

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-11-18

お問い合わせ：[info@bigone.tokyo](mailto:info@bigone.tokyo) 【お問い合わせはメールにてお願い致します】

※ 2023年3月 (株)デンより社名変更致しました。

※ (株)ブラストは、(株)ビッグワンのグループ会社です。

